

(別添資料1)

事業所名

児童通所支援事業所すだち

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		「すべては利用者さんのために」を基本理念とする。					
支援方針		- 一人ひとりの個性や強み、可能性が発揮できるよう支援します。 - 様々な体験や経験を通して豊かな人間性を育てます。 - 人とのつながりを大切にし、社会性を育みます。					
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	00 分	まで
児童発達支援		8 時	30 分	から	12 時	30 分	まで
放課後等デイサービス		13 時	00 分	から	17 時	00 分	まで
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	来所時の挨拶、体温測定、連絡帳の提出、荷物の整理など生活に必要なスキルを身に付けられるよう支援しています。おやつや食事（昼食）、排泄面などお子さんの成長段階に合わせた支援を行い、スモールステップで出来る事・わかることを増やしていきます。					
	運動・感覚	戸外活動では、中庭・園庭で身体を動かしたり、近くをお散歩したり、公園へ行き遊具の扱い方を学び遊びの幅が広がるよう支援しています。 室内遊びでは、バランスボールや、風船遊びなど体を使った遊びのほか、おもちゃで遊びながら道具の扱い方を学んだり、身体に触れられることに慣れたり、身体の使い方を学べるような遊びを提供しています。					
	認知・行動	大まかな一日のスケジュールを提示し、その他必要なお子さんには個別のスケジュールの提供、必要に応じて視覚支援（絵カード）の提示をしています。時間の流れや、活動の流れが身に付き、気持ちをスムーズに切り替えられるよう支援しています。個別の学習や遊びの中で、数量や形、大きさ、色、形、名称など学べる機会を設けています。					
	言語 コミュニケーション	対面学習で職員とのやり取りや、絵カード呼称・復唱等を行いながら言葉を引き出していきます。遊びのなかで「貸して」「まげて」などのやり取りを行いながら、経験を重ね関わり方を学んだり、一緒に遊べるよう促しています。					
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニングや、遊びを通して相手の気持ちを考えたり、社会のルールを学べる機会を設けています。社会に出るために必要なスキルを身に付けられるよう、個別の課題や職員、お友達とのやり取りを通し、ルールややり取りを学べるよう支援しています。					
家族支援		保護者向け勉強会の開催、保護者交流会の開催、年2回の保護者面談、その他随時相談を受け付けています。また、家族の就労を支援するため、日中一時支援を併用し延長利用が出来るよう支援しています。				移行支援	ライフステージに合わせた支援、系列事業所への情報提供を行っています。訪問や電話等で関係機関との情報共有を行います。
地域支援・地域連携		施設全体での秋祭り、他事業所・学校との連携・情報共有を行っています。年間を通し、市内児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会の参加。				職員の質の向上	各種研修会の参加、資格取得のための環境整備、力量評価等を実施し職員のスキルアップにつなげています。
主な行事等		児童発達支援：お花見遠足、プール、運動会、遠足、クリスマス会、お正月遊び、月ごとのレクリエーション・制作活動、おやつ作り（5～10月頃）、野菜栽培 放課後等デイサービス：プール、クリスマス会、お正月遊び、月ごとのレクリエーション活動・制作活動、おやつ作り（5～10月頃）、外出支援、野菜栽培 等					